ふじやまだより

第38号
発行　2006年
２月１５日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

ホームページ　http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p

本郷ふじやま公園、三周年に感謝

本郷ふじやま公園運営委員会　　会長　保坂順弥

２月15日は本郷ふじやま公園が開園致しまして三周年の記念日にあたります。

このように３周年を迎えることが出来ましたのは、近隣住民皆様のご理解と心温まるご協力、環境創造局・栄区役所区政推進課・栄区土木事務所など関係行政のご指導に依るところ大きいものがあります。心より御礼申し上げます。

お陰様で古民家への来園者数も23000人に達しようとしています。

四季折々に楽しめる公園は憩いの場であり、里山に共存します動植物との出会いの場でもあります。手作りの楽しめる教室も年間15教室180講座と多彩に開催させていただいています。伝統的な行事も四季に応じて開催しています。第３日曜日は工作棟を開放いたしまして子ども工作の日を設け、多くの子どもたちが手づくりを体験しています。筍掘り体験や間伐の竹を再利用した炭焼き教室、秋の恵みに感謝しての収穫祭での芋掘り体験、ふじやま鍋や焼芋などを楽しんでいただいています。

これらの活動などを積み重ねて本郷ふじやま公園は地域の公園として定着をし始めました。散策の場や憩いの場、集いの広場として利用いただければと思っています。本郷ふじやま公園運営委員会・事業部会共に【楽しめる公園】を目指し今後も事業を展開いたします。これからも皆様方のご協力とご指導を宜しくお願い致します。

もうすぐ雛祭り

２月１４日（火）～３月５日（日）の期間中、古民家には雛人形が飾られます。３月４日（土）には雛祭りの行事があります。詳しくは本紙、４ページをご覧ください。

雛人形と桃の節句の由来

平安朝時代の宮廷貴族達の生活に「ひいな」という紙人形のままごと遊びがありました（「ひいな」は「雛」の古語＝小さくてかわいらしいの意）。これとは別に同時期に始まった身代わり信仰「形代」（かたしろ）では、三月の上巳（三月の初めの巳の日）に紙や植物で作った形代で体を撫でて、身の穢れや禍をこれに移し代わらせて川や海に流しました。これは中国の風習に因ります。

この「ひいな」遊びと「かたしろ」信仰がとけあいしだいに雛人形の原型が作られていきました。

さらに季節の変り目に供御（くご＝飲食物）を供えて身体の安泰を願う節供という信仰がありました。この二つが合体して「上巳の節句」（桃の節句）となったようです。

三月三日の桃の節句に雛人形を飾るようになったのは、江戸時代以降と言われています。

（参考文献：「人形　第４巻　雛人形と武者人形」京都書院／「平凡社大百科事典　１２」平凡社）

出火した！　でも落ち着いて避難、しっかり初期消火

文化財防火デー消火訓練

昭和24年(1949)法隆寺金堂壁画が火災で焼損したことを省みて、「文化財を火から守ろう」の掛け声のもとに１月 26 日午前 10 時から本郷ふじやま公園で消火訓練が実施されました。

母屋から出火したとの想定でお客さまを誘導して、すばやく消防署へ出火を連絡すると園内の消火設備を使って初期消火に努めました。まもなく消防車が到着すると消防士による機敏な消火活動で大事に至ることなく消し止めることができるまでの訓練をしました。

「火事だ!」

「みなさん、こちらから避難してください。落ち着いて！」

「もしもし消防署ですか?」

消防車がくるまで頑張れ！

母屋の屋根はドレンチャーで放水

「後はまかせて!」

消防車到着

＊教室訪問＊

里山のそば打ちの巻　（1月28日）

教室を訪問すると生徒さんはみなさんエプロン姿で自分の蕎麦をこねるのに奮闘していました。

先生は「上から体重をかけてこねます。押すのではありませんよ。」とアドバイス。

初めての麺棒もボランティアの助手の方々に手伝ってもらいながら皆さん上手に延ばしました。

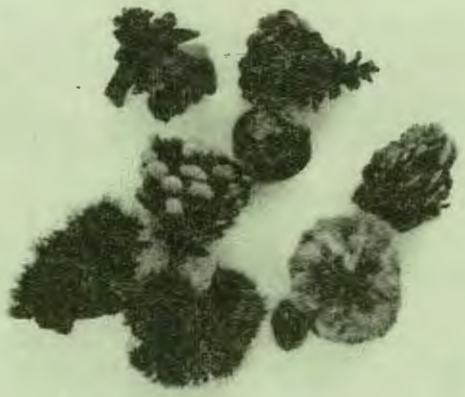
大きな重い包丁で蕎麦を切って３つのかたまりに分けて、１つはここで茹でて食べて、２つをご自分の家に持ち帰るのだそうです。生徒さんに「よいお土産ができそうですね。」と話しかけると「そうですね。」とニッコリ。

いよいよ自分達の蕎麦を茹でて会食です。用意されたダシ、刻みノリとワサビでたべるとそれぞれに「うまい」を連発されました。

そば教室に参加した理由は、「妻とこどもに自慢したいから」、「自分で作って食べられるのが良い」といろいろです。和気あいあいとした教室でした。

いろいろな植物から花炭を作ろう

松かさ、クルミ、栗



柿

花炭は植物をそのままの形で焼いて作ります。

松かさ、クルミ、ドングリなど比較的水分の少ないものは、形も崩れにくく、そのままの形で炭になります。クリのイガの針のように細く尖ったものでもそのまま炭になります。水分の多い果物（リンゴ，ミカン、バナナ等）でも作ることができます。

作り方は、菓子の空き缶や茶筒など、蓋がぴっちりしまる容器に材料を詰めます。隙間に籾殻をびっしりといれて蓋をしめ、容器ごと炭材と一緒に窯の中に入れて焼きます。

焼くと体積が縮み、元の大きさの８割から半分以下になります。これらの炭は、形がおもしろいのでインテリアとしてテーブルの上などに置いておけます。さらに炭の消臭機能があるので、飾りと部屋の空気浄化の二つの働きを同時にしてくれます。

「筍掘りを楽しむ会」ご案内

◆実施日　平成18年4月22日(土)9:30～13:00◆　〔雨天の場合は翌23日(日)に延期〕

ご注意：ふじやまだより１月号(第37号)3ページの記事「開園3周年記念行事」中にある4月8日という実施日は4月22日に変更になりました。

○募集人員：２５家族（１家族４名以内）
　幼児はご遠慮下さい。

○参加費：筍汁代お一人３００円。主食は各自でご用意ください。

○お土産：掘った筍は参加者に分配します。

○お申込：往復ハガキに「筍堀」と明記しご家族全員の氏名（お子様は学年も）、住所、電話番号をお書きの上、本郷ふじやま公園へ。

○締切：平成１８年３月３１日（土）必着

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください
お待ちしております

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
作って遊ぼう ～子ども工作の日～	3月19日(日) 10時～12時 13時～15時	ドリームキャッチャー （夢をつかもう）	無料	申し込み不要 当日受付： 10時～11時 13時～14時
和紙ちぎり絵 （全２回）	3月22日(水) 4月26日(水) 13時～16時	「赤いバラ」と 「てっせん」	1800円 （１作品）	2月28日(火)
里山のそば打ち塾	3月25日(土) 10時～13時	初心者でも美味しいそばが打てます。	700円	3月10日(金)
造形遊び	3月28日(火) A　10時～12時 B　13時～15時	プリザーブフラワーで作る三角ケーキ	1200円	2月28日(火) (A/B各８名)
粘土工芸 （全３回）	4月28日(金) 5月12日(金) 5月26日(金) 13時～16時	ふくろうのポプリ入れと ふくろうのブローチ	2000円	4月20日(木)
布細工 （全２回）	4月12日(水) 4月19日(水) 13時～16時30分	五月の節句飾りを和布で作ります。	1000円	3月10日(金)

(1) 持参品　：返信ハガキで連絡します。
(2) 定員　　：12名。応募者多数のときは抽選。
(3) 応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号住所、電話番号を書いて応募期限までに**本郷ふじやま公園**へ

＊＊雛祭りのお知らせ＊＊

日時　２月14日（火）～３月５日（日）
内容　期間中座敷に雛人形を飾りお祝いをします。
３月４日（土）13時～15時　紙芝居・楽器演奏などを開催します。
12時からお祝い饅頭券を先着100名様に販売（250円）します。
15時から引替えします。ご家族でお出かけ下さい。入場無料

・開館時間：　９：００～１７：００　・入館料：無料
・休館日　：　３月１日（水）
・クリーンアップ作業：３月７日（火）、２１日（火）１０時～１１時

◆本郷ふじやま公園運営委員会　〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷１－20 TEL:896-0590　FAX:896-0593
「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。